

「第5次宇都宮市障がい者福祉プラン」の進捗状況について

◎ 趣旨

平成30年3月に策定した「第5次宇都宮市障がい者福祉プラン（以下「第5次プラン」という。）」の取組状況について取りまとめたことから、その内容について報告するもの

1 計画の概要について

(1) 計画の位置づけ

障害者基本法第11条第3項に定める「市町村障害者計画」であり、本市の障がい福祉施策の基本的な方向性を示し、事業の計画的な推進を図るための計画

(2) 計画期間

2018（平成30）年度から2023（令和5）年度の6年間

(3) 基本理念

「障がいのある人が 住み慣れた地域で いつまでも自分らしく 生き生きと安心して暮らせる 共生社会の実現」

(4) 基本目標

- 【基本目標1】自分らしく生き生きと自立して暮らせる社会の実現
- 【基本目標2】乳幼児期から生涯にわたり地域で安心して暮らせる社会の実現
- 【基本目標3】互いに尊重し支え合う暮らしやすい社会の実現

2 評価について

(1) 評価の考え方

第5次プランに計上されている進行管理対象取組について、令和2年度の年次目標値の達成状況や取組内容を踏まえて進捗状況の評価を行う。

区分	取組の評価
取組内容を実施 又は 指標の達成率 100%以上	A 順調
取組内容を一部実施・検討 又は 活動目標の達成率 70%以上 100%未満	B 概ね順調
取組内容に未着手 又は 活動目標の達成率 70%未満	C やや遅れている

※ 本市の行政評価の基準を参考

(2) 進行管理対象取組の評価・・・・・・・・・・・・・・・・別紙

区分	取組の数
A 順調	13取組
B 概ね順調	6取組
C やや遅れている	2取組

【基本目標別の評価】

**基本目標1 自分らしく生き生きと自立して暮らせる社会の実現**

- ・ 「就労支援の充実」については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止となった事業もあるが、ハローワークとの共催により、個人面接会を実施するなど、就労への意欲向上などを図ることができた。
- ・ 「外出・移動支援の充実」については、屋外での移動が困難な障がい児者に対する移動支援（移動介護）の実施による自立生活等への促進や単独での通学通所が困難な障がい児者に対する移動支援（通学通所支援）の実施による介護者の負担軽減等に取り組むことができた。

**基本目標2 乳幼児期から生涯にわたり地域で安心して暮らせる社会の実現**

- ・ 「相談支援の充実」については、自立支援協議会等の意見なども踏まえた相談支援体制の見直しや住み慣れた地域で安心して暮らせるための機能の充実に係る検討などにより、地域生活支援体制を整備することができた。
- ・ 「住まいの場の充実」については、グループホームを整備する事業者に対し、障がい者福祉施設整備費補助金等の補助金を交付し、障がい者の地域移行や重度化等に対応する住まいの場の一つとして重要なグループホームの設置促進を図ることができた。
- ・ 「保健・医療の充実」については、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの協議の場として、自立支援協議会に「精神障がい者地域移行・定着支援部会」を新たに設置し、保健・医療・福祉関係者による、地域移行・定着の課題解決に向けた検討を進めることができた。

**基本目標3 互いに尊重し支え合う暮らしやすい社会の実現**

- ・ 「障がい者への理解促進・差別解消の推進」については、大通りバス停の映像広告モニターや宇都宮ブラックスホームゲームにおける周知啓発動画の放映やヘルプマーク・ヘルプカードの配布等により、市民等に対する障がい者への理解促進を図ることができた。
- ・ 「権利擁護の充実」については、障がい福祉サービス事業者等に対する虐待防止に係る周知や虐待通報事案に対する関係機関との連携や緊急一時保護等の対応に取り組むなど、虐待防止の推進を図ることができた。

- ・ 「災害時支援・地域の多様なネットワーク機能の充実」については、自立支援協議会を3回開催し、「第6期宇都宮市障がい福祉サービス計画・第2期宇都宮市障がい児福祉サービス計画」策定に係る様々な意見をいただいたほか、自立支援協議会に「精神障がい者地域移行・定着支援部会」を新たに設置するなど、障がい者の支援に係る連携体制の強化を図ることができた。

### 【全体評価】

- ・ 進行管理対象取組について、令和2年度においては、A評価が13取組（62%）、B評価が6取組（29%）であり、全体としては、概ね順調な進捗状況である。
  - ・ C評価の2取組については、新型コロナウイルス感染症の拡大により、講座の中止や申込者数の減少などの影響を大きく受けていることから、例年より低い評価となっている。
- ※ **計画 No13** ボランティアの協力による社会参加活動の促進  
 ⇒ 平成30年度：B評価 令和元年度：B評価
- 計画 No81** 意思疎通支援体制の充実  
 ⇒ 平成30年度：A評価 令和元年度：B評価
- ・ 今後も、引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、各取組に係る実施方法について、適宜、見直し等を行い、適切に実施できるよう、取り組んでいく。

<参考> 令和3年度の各種講座の開催状況について（令和3年9月1日時点）

- ・ ボランティア養成講座（**計画 No13**）  
 ⇒ 2講座開催（約100名受講）
- ・ 各種奉仕員養成講座（**計画 No81**）  
 ⇒ 4講座開催（約50名受講）